



つながる楽しさ

新中学1年生はどの部活に入るかで盛り上がっていますが、運動部の場合には身体が慣れるまでは体力的に無理しすぎないようにしましょう。そしてコロナ感染予防にはしっかり取り組んでください。

さて女優の仲里依紗さんが中高生新聞のインタビューで「テストの点数は勉強を楽しんだかどうかの点数ととらえて」と言い、「もし点数が悪かったら、『勉強楽しめてなかったな』と思ってほしい。逆に、いい成績だった友達がいれば『あの子、めっちゃ楽しんでるんだ。私も楽しもう!』と考え方を変えてみて。楽しんだもの勝ちです!」とアドバイスしていました。そうはいつでも「勉強をどう楽しめばいいのかがわからないよ。」という人も多いはず。そこでひとつ思うのは、勉強したことが実際の場面とつながる楽しさです。先日、「ナニコレ珍百景」というテレビ番組で、日本一高いビル「あべのハルカス」の展望デッキから見える2つの通天閣を紹介していました。それに気づいて投稿した少年は、中1の理科で習った光の屈折が本当にこんな大きなところで実際に起こっていることに驚いたと同時に、知識が現実とつながったことを楽しめたと思います。もっと身近なところでも、例えば単価の違う2種類の鉛筆を同じ代金で何本買えるかを調べる時、単価×本数を面積図にして比べてみると一目瞭然。これは社会人になってからのプレゼンテーションにも応用できることです。また発音できた瞬間に英単語の意味がつながることはとても多いはずなのに、目で見ただけのアルファベットの並びでは覚えるのが大変です。だからいつも「単語を覚える時には声に出して!」と言っているのです。他にも、地理や歴史の教科書に載っていたことを旅行先で見かけたならば、しばらく印象に残って忘れないでしょう。郷土博物館などに「千歯こき」の実物が展示されていることがあるのですが、そこで歴史の教科書の「江戸時代の農具の進歩」のイラストとつながれば、「これなら稲を脱穀するのが大幅に便利になった」ことが実感できるはずです。

つながる楽しさが、少しでも勉強する楽しさになりますように!